



# 大北小だより

<http://www.ooizumi-n-e.nerima-ky.ed.jp>

2月号

平成27年 2月 2日

練馬区立大泉北小学校

校長 小島 英樹

## 自ら考え、学ぶ力

校長 小島 英樹

今年も厳しい寒さの中、大学入試センター試験が行われました。すでに問題も解答も報道されているので、目にされた方も多いと思います。私も興味があり、毎年問題に挑戦してみますが、さびついた頭脳ではもはや太刀打ちできません。

ところで、今年の現代文の問題を見ると、ケータイ・スマホ・ネット世代の現代の高校生にとっては、日頃、目にすることの少ないであろうジャンルの文章を取り上げて、最後まできちんと読んで内容を正しく読み取らなければ書かれている文章の意味すら理解できない、なかなかよい問題だと感じました。

また、漢字の書き取りにしても、一文字だけを覚えるのではなく、同音異義のさまざまな言葉を漢字で正しく書ける力がなければ答えられないように工夫されていると思いました。

回答はすべて五者択一方式になっていますが、その選択肢もそれぞれに工夫されていて、文章全体を正しく読み取っていなければ一つに絞り込むことが難しいようなもっともらしい選択肢が並んでいて興味深かったです。

しかし本来ならば、この選択肢にあるようなさまざまな意見や考えを受験者一人一人が出し合って、互いにディスカッションし合うことによって自らの理解を深め、それぞれの解釈の違いのおもしろさに気付いたり、自分の考えの幅を広げたりすることが真の学力につながるのと思うと採点ミスをなくすためとはいえ、もったいないなあと思います。

大北小ではこの4年間「進んで運動し、互いに学び合う児童をめざして」をテーマに研究を進めています。その中核となるのが、児童自身に学習のめあてを意識させ、主体的に学ぶ意欲と態度を育てることです。そのために私達教師は、体育学習における基本的な指導の流れを定め、ねらいを明確にした授業展開を工夫しています。これが「大北小スタンダード」による授業実践です。そしてこの「大北小スタンダード」を体育学習のみならず、すべての教科指導や学級経営に波及させて、学校生活全体によい影響を及ぼしたいと考えています。

目先の結果を得るためのその場限りの力ではなく、児童の生涯にわたって基盤となる学力・体力・道徳力を身に付けさせ、児童自らが主体的に学ぶ態度を育てていくために私達はさらに研究を深めながら、日々の指導に当たっていきます。

### 「展覧会に向けて」

図工専科 佐藤 章子

日々の図工の学習では子供たちの豊かな発想や様々な工夫が見られます。展覧会ではそういった子供たちのもっている力や思いが一つ一つの作品に見られることと思います。作品を鑑賞することで友達や他学年の児童の発想や思いに触れ、素敵などころをたくさん見つけられるような展覧会になることを願っています。

今回は開校40周年記念の展覧会として、全校児童による共同作品も制作しています。児童一人一人が大北小をお祝いする気持ちをこめて花を描いています。また6年生による作品解説も今回の展覧会の新しい試みです。(土曜の午前のみ)今年度も多くの皆様のご参観をお待ちしております。

# 初めての社会科見学（3年生）

2組担任 山川 美帆

12月12日（金）、3年生は社会科見学に行ってきました。見学した施設は、練馬区役所・ベジふるセンター練馬、ふるさと文化館です。学習のめあては、練馬区のまちを実際に見て、聞いて、触れて学習すること。もう一つは、「見学の時の約束を守ること」でした。3年生にとって社会科見学は、公共の場でのマナーを学ぶよい機会ともなりました。

## ① 練馬区役所

練馬区役所では、展望室で練馬の町並みと防災のことについて学習しました。区役所で働くみなさんが、町の安全を守る為に、どのように工夫や努力をしているかが分かりました。子供たちは、大北小の体育館が避難場所になることを知って、驚いていました。



## ② ベジふるセンター練馬

練馬の畑で収穫された野菜が、市場でどのように売られているのか教えて頂きました。また、日本だけではなく外国からも野菜や果物が市場に集まり、消費者の手元に届くことを学びました。

## ③ ふるさと文化館

隣接されている「旧内田家住宅」に入り、館長さんや学芸員の方から、昔の民家の造りを教えて頂きました。館内では、展示資料を実際に触りながら昔の人の暮らしを学びました。館長さんから「大北小の子は、見学態度が素晴らしい！」とお褒めの言葉を頂きました。



後日、3年児童の新聞の作品を添付します。

後日、社会科の授業で新聞作りをしました。一人一人が、自分で載せたい記事を決めて仕上げました。学んだことを文にまとめ、感想を書くことで、物事を考える力が伸びてきます。また、友達の記事を読み合うことで、自分の考えとの共通点や相違点に気付き、多様な考えを「学び合う」こともできました。

本校の授業研究のテーマの一つである「学び合い」は、様々な教科で活かされています。

## がんばったマラソン大会

5年 瀧脇 稔尚

1月23日(金)にマラソン大会が行われました。前日のマラソン大会は雨のために延期になっていて、当日の朝は実施できるのかとても心配でしたが、無事に実施する準備が整いました。

校庭に出た5年生はいつになく緊張した面持ちでした。高学年として今年から2kmを走る事になり、練習を重ねる中で「距離の長さ」や「走りきる辛さ」などを実感していたようです。しかし、決して否定的な考えではなく、どの子も前向きに取り組もうとする気持ちをもっていてくれました。練習を通して各自がめあてを立て、計測していたタイムを意識して走ることを決意していることをうかがわせていました。

コースは校庭を半周してから西門を通過して校地外に出ます。そこから高速側に坂道を駆け上がり、ドロコ山の裏を通り抜けてまた正門から校庭に入ります。周回コースを5周した後、校庭を半周してゴールとなります。このコースを男子は9分半、女子は10分弱で走り切ります。

初めに女子、次に男子が走りました。大勢の保護者のみなさんから声援を受け、普段よりも走るペースが速く、気合いの入ったレース展開になりました。それぞれが自分のもてる力を発揮していることがよく伝わってきました。結果はどうであれ、全員が完走することができたことが一番うれしかったです。この経験をこれからの学校での生活に生かしてほしいと考えています。

これまで子供たちへの励ましや練習等へのご声援、ご協力ありがとうございました。

## 小学校生活最後の校外学習

6年 吉田 啓伸

6年生は、1月27日(火)に社会科見学に行きました。6年間過ごしてきた子供たちですが、みんなでバスに乗って出かけるのは今回が最後でした。全員で揃って出かけたかったところですが、インフルエンザの流行に加えて体調を崩してしまう子も少なくなく、18名が欠席の中での出発となりました。朝は雨が降っていましたが、学校を出るときには雨もあがり、青空の下、車窓からは都内の様々な建物や景色を見ることができました。

国会議事堂では、23000円/m!!と大変高価な赤いじゅうたんを踏みしめながら衆議院を見学しました。じゅうたんは、全長4.6kmもあるそうです。その上、3年に一度張り替えを行っていることにも驚かされました。3年ごとに相当な金額がかかっていることが分かります。また、当時の日本にはなかったドアノブやポスト、ステンドグラスは、海外から輸入されたものだそうです。例年、他校から見学に来る6年生で混雑し、いつもゆっくりと見学できない国会議事堂ですが、この日は見学者もそれほど多くはなかったため、じっくりと見学することができました。

科学技術館では、短時間の中でたくさんの体験をすることができました。子供たちはグループごとに見学し、時間を守って行動していました。また、昭和館では、戦争中や戦後の暮らしについて展示された物を見て、たくさんメモをしていました。当時の人々の生活の様子や気持ちが伝わってきたことでしょう。



## 2月行事予定表

◎今月の生活目標:チャイムの合図を守ろう けじめのある生活をしよう  
やくそくをまもろう

日	月	火	水	木	金	土
1	2 児童集会(節分) クラブ	3	4 大縄集会	5 社会科見学5年	6	7
8	9 全校朝会	10 安全指導 B時程	11 建国記念の日	12 けやき班集会	13 展覧会	14 展覧会 土曜授業公開 (金曜時間割) セーフティ教室3年
15	16 全校朝会 委員会	17	18 合唱団発表集会 4時間授業 (教育会研究発表会 のため)	19	20 5時間授業 B時程	21
22	23 給食委員会集会 クラブ 幼稚園・保育園 との交流会	24 PTA総会 (10:00~) 家庭科室	25 音楽朝会	26 6年生を送る会 (3時間目)	27 保護者会5・6年 (14:50~) 5年収穫祭 (13:15~)	28

忘れ物を取りに来る part2

1月号に書いた成果が出ました。毎月、5枚(約100名分) ペースだった児童受付名簿が今月は4枚で収まりそうです。ご協力ありがとうございました。引き続き、よろしくお願い致します。2月の目標は、月3枚でいきましょう。

自己肯定感を高めるためにも

子育てに厳しさは大切ですが、それ以上に優しさが大切です。大人もそうですが、特に子供は、自分の成長を認めてもらいたいのです。たとえ少しの成長でも、親の期待にはまだほど遠くてもその成長を見つけ、ほめてあげてください。親は木の上に立って見ているだけではダメなのです。

お願い

「欠席等の連絡は、電話ではなく連絡帳をお願いします。」と1月号でも書いたのですが、当然のように電話連絡してくる家庭があります。特にこの時期は、欠席者が多くなるので電話対応に時間を取られて他の業務に支障が出てしまいます。ご協力をお願い致します。

副校長通信

ホームページの不思議

副校長 城崎 真

大泉北小学校のホームページがあるのをご存じですか。実は、あるのです。そして、そのホームページにまつわる不思議なことがあるのです。大北小のホームページには、カウンターが付いています。前日と当日のアクセス数が表示されるのですが、実はこれが実に不思議なのです。というのは、記事を更新するとなぜか急にアクセス数が多くなるのです。まるで、更新されたことを知っているかのように。更新されると携帯電話にアラートされるというようなことはないはずですが。もしかしたら、誰かが「更新されたから見てみたら・・・」みたいなメールを流しているのではと思ってしまいました。情報化社会を感じます。どなたか正解を知っている方がいらっしゃいましたら、教えて頂けるとありがたいです。